

2024年度「ふじのくに多文化共生推進基本計画」進捗評価

1 評価の概要

「ふじのくに多文化共生推進基本計画（以下、基本計画）」の進捗の指標として設定されている数値目標について、県総合計画の評価手法に準じて評価を行う。（2025年4月時点）

2 総合評価

2024年度は、引き続き誰もが理解し合える多文化共生社会の実現を目指し、日本語教育の推進、「やさしい日本語」の普及啓発及び在住外国人向けの相談体制の強化に重点的に取り組んだ。

日本語教育の推進については、外国人県民の日本語教育の総合的・効果的な推進を図るため「日本語教育推進基本方針」を策定した。また、県と市町が課題解決に向けた検討を行う行政経営研究会内に新規テーマとして「多文化共生の推進」を設置し、地域日本語教育の推進について情報共有及び検討を行った。その結果、地域日本語教室を開催する市町が、令和6年度の6市町から令和7年度は16市町に増加した。

「やさしい日本語」の普及啓発については、県内の若い世代を中心に各地で活動する団体と個人が交流する「多文化共生わかものフォーラム」を初めて開催した。また、「やさしい日本語」講座と落語を開催し、若者から高齢者まで幅広い年代層への浸透を図った。

在住外国人向けの相談体制の強化については、相談者の利便性を向上させるため、外国人県民が相談員を介さずに自ら適切な相談窓口を判別できるよう、県ホームページ上に外国人相談案内ハブシステムを新たに構築した。

成果指標は、2指標ともBとなった。活動指標は9指標のうち2項目が◎で、5項目が○、2項目が●となった。おおむね計画どおり進捗していると評価する。（詳細別紙）

<各指標の達成状況区分>

■成果指標

評価区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの

■活動指標

評価区分	判断基準	
	数値目標	維持目標
◎	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超えのもの	「現状値」が「目標値」の115%以上のもの
○	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの	「現状値」が「目標値」の85%以上115%未満のもの
●	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満のもの	「現状値」が「目標値」の85%未満のもの
—	計値等発表前、当該年度に調査なし等	